

エルサルバドル政治経済月報

(2018年11月分)

2018年12月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

内政

1. 最高裁憲法法廷判事の任命

16日，約4ヶ月にわたり空席となっていた最高裁憲法法廷の判事4名の任命人事案が国会で可決された。

外交

1. サンチェス・セレン大統領の訪中

10月31日～11月4日，サンチェス・セレン大統領が中国を公式訪問し，習近平中国国家主席，李克強首相等と会談した他，第1回中国国際輸入博覧会開会式へ出席した。同訪問の成果として，保健，教育，テクノロジー，水供給及び災害の予防・対応・軽減におけるプロジェクトに割り当てられる3年間で1億5,000万ドルの無償協力のエルサルバドルへの提供が合意され，また，教育，経済，投資と生産性能力，フリーゾーン及び産業といった分野への協力に関する13の了解覚書への署名が行われた。

経済

1. 中国関連

(1) 当国中銀は、「中国開発銀行」と「中国人民銀行」との了解覚書に署名。中国の両銀行が、両国間の送金、預金、クレジット及びその他サービス・手続を提供する担当銀行となる。また、中国中銀とも了解覚書を署名し、両国間の支払システムが連結される予定。

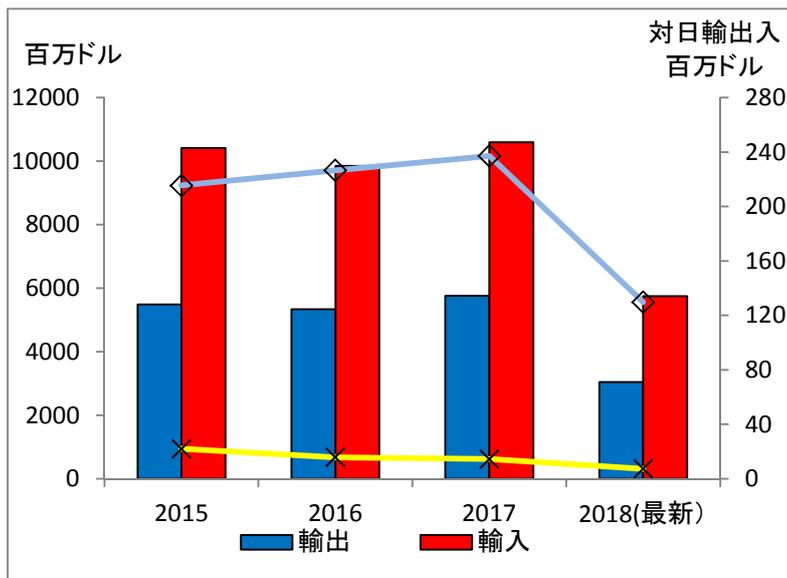
(2) 当国コーヒー審議会は中国企業2社と同意書を署名。目的は、中国における当国コーヒーの消費拡大。また、同審議会は中国商工会議所とも同意書に署名。

2. IMFによる当国経済情勢報告

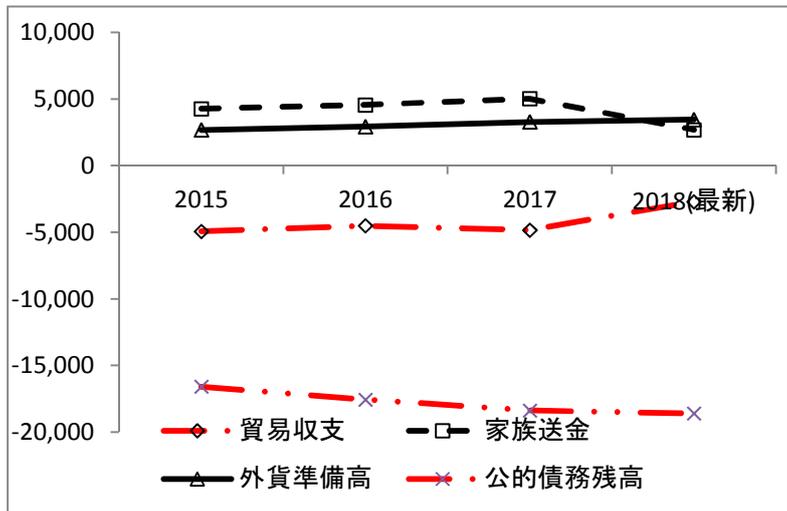
12-16日、IMF代表団が当国を訪問し、経済・財政状況を調査した。IMFはその報告において、2018年上半期の当国経済成長は2.8%になる見込みであり、経済は好調である旨公表。他方、税収が公的債務の利子に使用されており、2018年9月までの公的債務はGDP比約70%に達し、利子支払だけで7億5,291万ドルとなった旨公表。また、財政規律の維持と政府借款のファイナンスを保証するために政党間の合意形成を早急に行うことを推奨し、国会に対して2019年度予算を適切な方法で可決するよう指摘。

3. アカフトラ港における輸入申告手続の簡略化

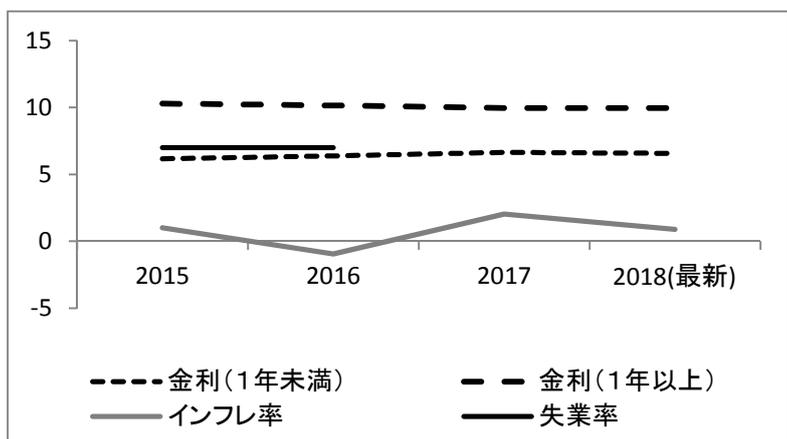
当国税関局はアカフトラ港において輸入申告手続に対し、新電子システムを導入することを発表。税関局によれば、同システムの導入により、今まで必要であった手続が19から10に減少し、許可までの所要時間が12時間から30分までに減少し、23%の手続コストの減少に繋がる由。



・2018年7月までの輸出額は30億4,792万ドルとなった。輸入額に関しては、57億5,225万ドルとなり、貿易収支は27億433万ドルの赤字となった。



・2018年6月までの家族送金額は26億8,800万ドルとなり、前年同月比で9.3%増加した。その内25億1,080万ドル(93.4%)が米国からの送金であった。



2018年6月のインフレ率の上昇率は前年同月比0.9%となった。

治安

【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、10月の殺人件数は263件、本年1月から11月末日までの殺人件数は3,056件となり、昨年同時期と比べると約16%減少（2017年同時期よりも543件減）。なお、例年、クリスマス時期や年末年始は、お金が大きく動く時期となることから、それに伴い犯罪発生件数も上昇する傾向があるため、犯罪被害に遭わぬよう注意する必要がある。
2. 11月8日付、当地主要紙によると、サンタ・テクラ市ダニエル・エルナンデス公園及びサン・マルティン公園周辺にて、デモ隊と市の治安部隊（GAM）が衝突し、1名の死者を含む被害が発生した。以前より、サンタ・テクラ市は、法的許可を得ずに露店販売を行っていた小売業者を退去させるために市の治安部隊を動員していたが、それに不満を持つ小売業者たちが度々、抗議デモを行っていた。今回の衝突において、デモ隊22名が負傷、1名が死亡、治安部隊側も多くの負傷者が発生した。同地区においては、今後も同様のデモ活動及び治安部隊との衝突が発生する可能性があるため、不要不急の外出は避け、現場付近に近づかぬよう注意する必要がある。
3. 11月22日付、当地主要紙によると、車両盗難被害件数が昨年よりも増加しており、主に、路上駐車した車両が被害に遭っている。犯罪者は窃盗した車両を分解し、その部品を売ることで活動資金に充てていることから、今後も車両盗難被害件数が増加していくことが予想される。車両にて移動する際は、路上駐車はせず、警備員等配置されている駐車場を選定する必要がある。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 11月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。
2. 11月9日深夜帯、サンベニート地区（avenida La Capilla en local # 620）の自転車販売店に窃盗グループが侵入、自転車数店を窃取し逃走する事件が発生した。当該店舗には、監視カメラ及び防犯センサーが設置されていたが、窃盗グループは、監視カメラに目隠しをするとともに、防犯センサーの配線を切断し、犯行に及んでいることから、事前の下見等、入念に計画された犯行であったものと推察される。同様の被害を避けるために、常に周囲に気を配り、不審な変化（同じ人が何度も周辺をうろついている、誰かに見られている等）にすぐに気づけるよう危機意識を持ち、不審な変化に気づいた場合は、所轄の警察署に相談する等、犯罪の未然防止のための行動をすぐに起こす必要がある。

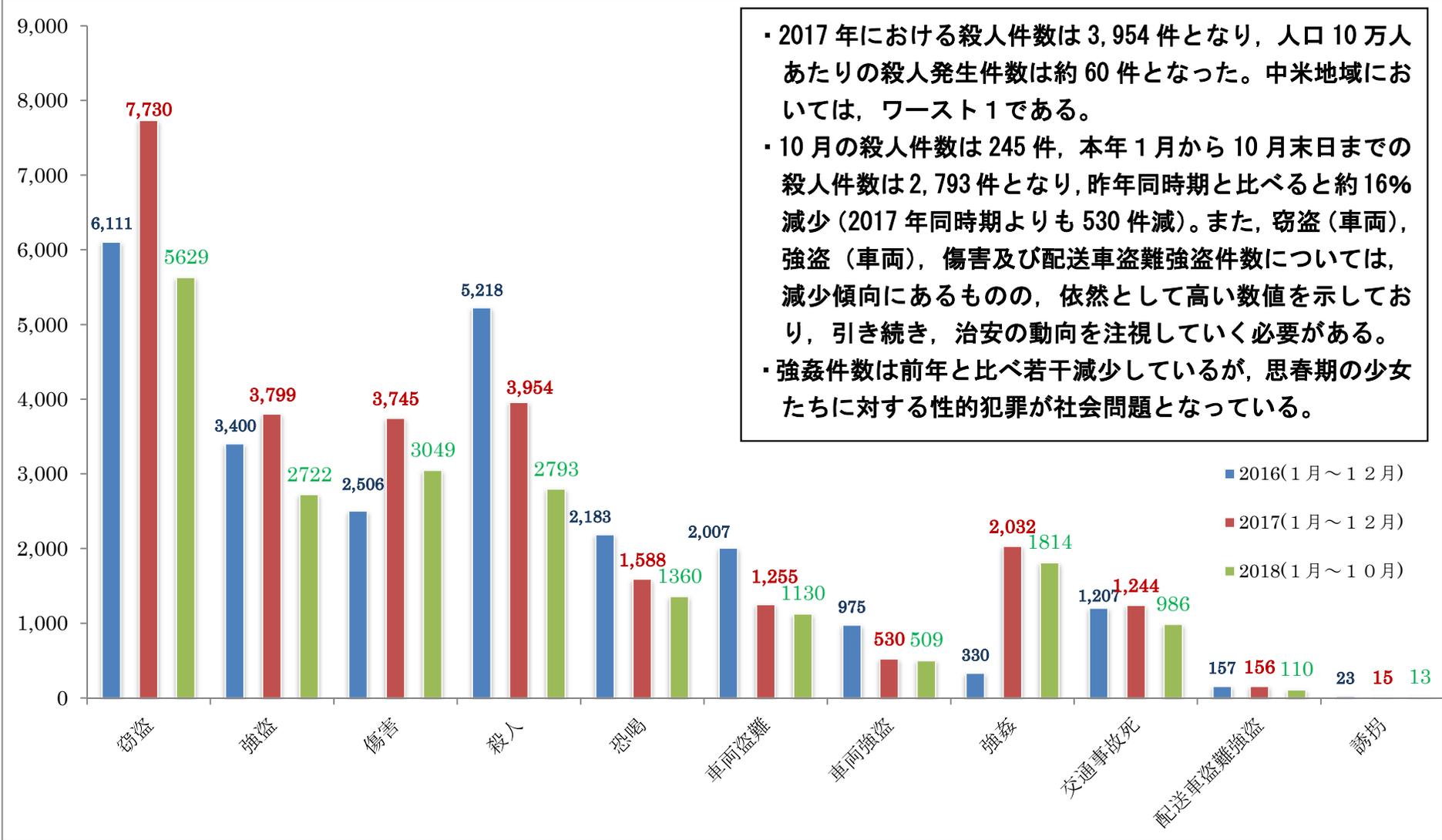
【観光地等における危険度レベル】

レベル1:十分注意区域

レベル2:不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計
主要 11 犯罪（10 月）過去 2 年との同時期の比較



- ・ 2017 年における殺人件数は 3,954 件となり、人口 10 万人あたりの殺人発生件数は約 60 件となった。中米地域においては、ワースト 1 である。
- ・ 10 月の殺人件数は 245 件、本年 1 月から 10 月末日までの殺人件数は 2,793 件となり、昨年同時期と比べると約 16% 減少（2017 年同時期よりも 530 件減）。また、窃盗（車両）、強盗（車両）、傷害及び配送車盗難強盗件数については、減少傾向にあるものの、依然として高い数値を示しており、引き続き、治安の動向を注視していく必要がある。
- ・ 強姦件数は前年と比べ若干減少しているが、思春期の少女たちに対する性的犯罪が社会問題となっている。

主な大使面談来館者

- 11月5日 双葉インターナショナル：市場開拓打合せ
- 11月6日 JICA 調整員：表敬挨拶
- 11月9日 Rourke 氏：医療都市構想打合せ
- 11月9日 邦楽演奏者：日本祭り
- 11月15日 Marketing Saludable 代表：医療都市計画打合せ
- 11月22日 メキシコ住友商事社長：中米ビジネス打合せ
- 11月26日 コロンビア伊藤忠丸紅鉄鋼：市場調査

(大使の外出打合せ・訪問件数：37件)